

令和4年度の

まちづくり

重点政策と予算状況

一年間のまちづくりの方針を示すのが町政執行方針です。

そして、それを実行するために必要なのが予算です。

その内容を審議する町議会第1回定例会が3月7日から10日まで開かれ、予算案などが議決されました。

今月号では、若狹靖町長が初日に行った町政執行方針、酒井裕之教育長が行った教育行政執行方針、そして令和4年度予算の概要をお知らせします。



はじめに

令和4年厚岸町議会第1回定例会の開会に当たり、町政執行に関する私の所信を申し上げます。

私は町長に就任して以来、町民の皆さんとの約束を果たすべく、どんな困難があってもそれを克服するため、たゆむことなく挑戦を続けてまいりました。その信念は、一貫して変わることのない私の政治理念であります。

本年2月、本町出身の佐藤綾乃さんが、2018年平昌冬季オリンピックに続き、2022年北京冬季オリンピックにスピードスケート日本代表として2大会連続で出場し、女子団体追い抜きで見事に銀メダルを獲得したほか、個人種目でも1500メートルで4位入賞、マススタートで8位入賞を果たすなど、大いに活躍されました。

今、世界中で新型コロナウイルス感染症の流行が長期化し、誰もが不安を抱える状況下にあっても目標に向かって挑戦し続け、栄光を掴み取った佐藤選手の姿は、私自身、大きな感銘を受けましたし、町民の皆さんにも勇気と感動を与えたのではないのでしょうか。

さて、私は、町民の皆さんの温かいご支援とご支持を得て、昨年7月から6期目の町政を担わせていただ



くこととなりました。6期目のスタートに当たる本年は、これまでの5期20年の延長としてではなく、未来へと続く新たなステージに挑戦していく期間と捉えており、今年一年の町政運営に向けた意気込みを一字の漢字で『新』を選び、愛する『あつけし』の新時代を創造する決意を新たにしたいところであります。

町民の皆さんと共に、現在、そして未来に向かって、さらなる町政の発展のため、自信と誇りを持って、全身全霊で職務に邁進してまいります。

町政に臨む基本姿勢

本年度は、新たな町政4年間のスタートとして、『第6期厚岸町総合計画』に基づく施策はもとより、オ